

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（1） 母子保健の充実

			【Plan】計画	【Do】実施						【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課				
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課	
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度
1	1	1	母子健康手帳の交付	母子の健康状態を記録するとともに、妊娠・出産・育児に関する正しい知識の提供および胎児、幼児への影響の大きい受動喫煙のリスクについて保健指導を行うなど、母子の健康の保持および増進を図る。また、妊婦健診の早期受診の勧奨やマタニティマーク等の情報を効果的に提供する。	①母子健康手帳の交付	①100%	妊娠11週以下での妊娠届出率(%)	現状値比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	順調①	・母子健康手帳の交付率は100%である。 ・母子健康手帳交付時に妊婦全員に対して行うアンケートを活用した専門職による効果的な面接や、必要な支援を行った。	・母子健康手帳交付時の専門職による面接支援や情報提供等を引き続き行い、安心して妊娠・出産できる環境づくりを行う。	すくすく子育て支援事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課
							【現状値】	92.3%	93.5%								
							【目標】	増加	101.3%								
							達成率	101.3%									
1	1	2	両親学級等の実施(すくすく子育て支援事業)	夫婦が協力して出産・育児に取り組む大切さを学ぶため、沐浴や妊婦疑似体験等の実習を取り入れた両親学級を開催する。土・日曜日など父親も参加しやすい日に行う。	①両親学級の開催	①22回	両親学級開催回数(回)	現状値比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	順調②	・両親学級について、出生数が減少していることや、新型コロナウイルスの影響等の理由により、開催回数は減少しているが、オンライン教室を開催するなど希望する方への機会の提供はできている。	・両親学級など知識提供型の事業は、他機関が開催する例も増えており、地域の社会資源状況を把握し、効果的・効率的な事業実施のあり方の検討が必要である。 ・区の実情に応じ、子育て支援のために有効な教室開催等について検討する。	すくすく子育て支援事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課
							【現状値】	28回									
							【目標】	現状維持	78.6%								
							達成率	78.6%									
1	1	3	母子健康診査	妊婦や乳幼児に対する健康診査や新生児のスクリーニング検査等を公費助成することで、経済的な負担を軽減するとともに、母子の健やかな発育を支援する。	①母子健康診査の実施	①-1 妊婦健康診査受診者数 6,492人(初期健診)	妊婦健康診査受診率(%)	現状値比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	順調①	妊婦健康診査および3歳児健康診査ともに受診率は高水準を維持しており、順調と判断した。	引き続き、事業周知や健診結果に応じた支援を行う等、事業を推進する。	母子健康診査	子ども家庭局・子育て支援課
							【現状値】	96.7%	96.8%								
							【目標】	増加	100.1%								
							達成率	100.1%									
						①-2 3歳児健康診査受診者数 7,176人	3歳児健康診査受診率(%)	現状値比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加					
							【現状値】	96.4%	100.4%								
							【目標】	増加	104.2%								
							達成率	104.2%									

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（1）母子保健の充実

				【Plan】計画	【Do】実施						【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課				
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※大字が評価を記載した課		
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度	
1	1	4	産後うつ対策 (のびのび赤ちゃん訪問事業)	産後のうつ状態等を早期に把握し、きめ細かに支援するため、産後4か月までの家庭訪問時に、すべての産婦に産後うつなどを発見するための質問票を用いるとともに、医療機関と行政が連携し、産後うつに対して早期に対応する。	①専門職による産後うつ質問票によるヒアリングの実施	①93.9%	産後うつ質問票によるヒアリングの実施率(%)	半年度目標	現状値と同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	順調①	・新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度より実施率は低下したものの、9割以上の家庭で実施できているため、順調と判断した。 ・ヒアリングの結果支援が必要と判断された産婦は保健師等が継続して支援している。			
							【現状値】	実績	93.9%									
							【目標】	達成率	97.8%									
							現状維持	計画目標	97.8%									
1	1	5	妊産婦・乳幼児なんでも相談 (すくすく子育て支援事業)	育児不安の軽減を図るため、市民センター等地域の身近な場所で、保健師による相談を定期的の実施し、出産や育児、子どもの成長発達についての個別相談や保健指導を行う。また講話などにより子育てに関する情報提供を行う。	①なんでも相談の実施	①89.3% (実施：117か所 予定：131か所)	なんでも相談の実施率(%)	半年度目標	現状値と同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	順調②	・新型コロナウイルス感染症の影響で、休止した期間もあるものの、身近な相談場所として定着している。	・身近な相談場所として定着しており、子育ての孤立化の予防に繋がっていることから、今後も事業を継続する。 ・あらゆる機会を通じて事業の周知を図り、利用を促進する。	すくすく子育て支援事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課
							【現状値】	実績	89.3%									
							【目標】	達成率	89.3%									
							現状維持	計画目標	89.3%									
1	1	6	妊娠・出産等に関する相談支援事業(妊娠・出産・養育にかかる相談・支援事業)	妊娠や出産に関する相談体制を充実するため、不妊や不育症、思いがけない妊娠などの悩みを抱える者に、専門職が適切な情報提供をするなど、必要な支援につなぐ電話相談事業を実施する。 また、妊娠・出産、育児期を通して、母子を切れ目なくきめ細かく相談・支援することができるよう子育て世代包括支援センターの体制の強化及び周知に努める。	①妊娠・出産等に関する相談事業	①139件	妊娠相談ほっとナビの実施	半年度目標	現状値比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	順調①	妊娠・出産等に関する相談事業において、相談対応が必要な方への対応ができていることから順調とした。	妊娠や出産に関する悩みを抱える者に適切な情報提供を行い、必要な支援につなげるための電話相談事業を継続して実施するとともに、事業の周知に努める。	妊娠・出産・養育にかかる相談・支援事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課
							【現状値】	実績	実施									
							【目標】	達成率	100%									
							体制の維持	計画目標	100%									

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（1）母子保健の充実

		【Plan】計画					【Do】実施					【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課		
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課	
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度
1	1	7	こんにちは赤ちゃん！小児科訪問（ペリネイタルビジット）事業	妊産婦の育児不安を軽減するため、産前から産後間もない妊産婦とその家族が、育児について小児科医に何でも相談できるよう、産科医が小児科医を紹介する。	①ペリネイタルビジット事業の実施	①紹介件数 755件 ②指導件数 671件	指導率（％）	半年度目標	現状値 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	順調①	・産婦人科医・小児科医と保健師等の連携により、妊産婦等の相談に対応した。 ・事業の周知を図り、関係機関と連携しながら、事業の利用促進を図った。 ・紹介を受けた妊産婦の9割程が指導につながり育児についての相談ができており、順調とした。		
							【現状値】	実績	88.9%								
							【目標】	達成率	99%								
								計画目標	99%								
1	1	8	産後ケア体制の充実（妊娠・出産・養育にかかる相談・支援事業）	産後の心身の不安定になる時期に支援が必要な産婦を早期に見出し、適切な支援につながるように、関係機関と連携し、産後ケア体制の充実に努める。	①産婦健診受診率 ②産後ケア事業利用件数	①84.6% ②677件	産婦健診受診率（％）	半年度目標	—	現状値 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	順調①	・産婦健康診査の受診率は8割超と高水準であり、健診受診や産後ケアを通じて、関係機関と連携のうえ適切な支援を実施することができたため、順調とした。 ・引き続き、事業周知や健診結果に応じた支援を行う等、事業を推進する。		
							【現状値】	実績	84.6%								
							【目標】	達成率	—								
								計画目標	—								
1	1	9	不妊に悩む方への特定治療支援事業及び不妊等専門相談	不妊に悩む夫婦が、経済的理由で不妊治療を断念することがないよう、医療費が高額な特定不妊治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。専門相談窓口を設置し、不妊治療、家庭・仕事との両立などさまざまな相談に応じることで、心身の悩みを軽減する。さらに、アプリケーションソフトウェア等を活用し、妊娠を希望する市民に、妊娠や不妊に関する知識の普及及び啓発等に努める。	①特定不妊治療費の助成 ②不妊相談対応	①670件 ②66件	特定不妊治療の助成制度を知っている人の割合	半年度目標	現状値 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	順調①	・所得制限の撤廃や助成額の増加等、助成内容を拡充した。 ・不妊に悩む方が身近に相談できる機会の提供はできており、順調である。		
							【現状値】	実績	41.8%								
							【目標】	達成率	143%								
								計画目標	143%								

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（1）母子保健の充実

		【Plan】計画					【Do】実施					【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課			
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※大字が評価を記載した課		
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度	
1	1	10	思春期健康教育（思春期保健連絡会）	思春期の子どもたちの健全な健康づくりを支援するために、思春期の子どもが、生涯を通じて、心身の変化を正しく理解し、自他の心と体を大切にすることができるよう、市内小学校・中学校において健康教育を実施する。	①思春期保健連絡会の開催 ②思春期健康教室の実施	①1回 ②113回	教室実施回数(回)	半年度目標	現状値 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	順調②	・連携強化等のための思春期保健連絡会を開催した。 ・小中学生等を対象に思春期健康教室を実施し、活動状況は順調であった。	・思春期保健連絡会等で関係機関と連携強化を図り、思春期保健の課題等について協議を続ける。また、協議結果を踏まえ、小中学生等を対象とした思春期健康教室を効果的に実施する。	思春期保健連絡会 北九州市「青少年の非行を生まない地域づくり」推進本部運営事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課、青少年課 教育委員会・学校経営・教育指導課 保健福祉局・感染症医療政策課
【現状値】	132回 (R元年度)	113回																
【目標】	増加	85.6%																
達成率		85.6%																
1	2	11	生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業（のびのび赤ちゃん訪問事業）	生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、さまざまな不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対して適切なサービスに結びつける。	①生後4か月までの乳児家庭訪問の実施	①91.4%	乳児家庭全戸訪問の訪問率(%)	半年度目標	現状値 比増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	前年度比 増加	順調①	・新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度より実施率は低下したものの、9割以上の家庭で実施できているため、順調と判断した。 ・地域支援者（主任児童委員等）による地域に住む人ならではの情報提供や関わりも定着してきており、専門職と地域支援者それぞれの強みを活かした活動が展開されている。	・子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、関係機関と連携し、より効果的な事業の推進を図る。	のびのび赤ちゃん訪問事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課
【現状値】	94.6% (R元年度)	91.4%																
【目標】	増加	96.6%																
達成率		96.6%																
1	2	12	育児教室等の実施（すくすく子育て支援事業）	乳幼児の食事・睡眠等の基本的な生活習慣や、メディアとの付き合い方等子育てに関する知識の普及を図るため、赤ちゃんの育て方や子どもの心と身体の発育・しつけなど育児に必要な知識を中心とした講義や交流会を取り入れた教室を開催する。	①育児学級の開催	①135回	育児教室開催回数(回)	半年度目標	現状値 と同水準	前年度比 同水準	前年度比 同水準	前年度比 同水準	前年度比 同水準	遅れ	・新型コロナウイルス感染症予防の観点から、休止する期間があり回数は減少したものの、環境が整い次第、オンライン教室や感染防止対策を取った上で開催するなど工夫して実施した。 ・乳幼児を持つ保護者に対して、必要な情報を提供できている。	・今後も引き続き区において、メディア視聴等健康課題に応じた教室を開催する。	すくすく子育て支援事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課
【現状値】	414回 (R元年度)	135回																
【目標】	現状維持	32.6%																
達成率		32.6%																

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（1）母子保健の充実

		【Plan】計画				【Do】実施						【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課			
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課		
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度	
1	2	13	食を通じた乳幼児等の健康づくり事業	妊産婦や乳幼児の食事や栄養について、知識の普及と不安や悩みの軽減を図るため、実習形式で学べる教室の開催及び相談を行う。また、参加できない対象者については、リーフレットの配布等で啓発を行う。	①妊婦教室の開催 ②離乳食教室（実習型）の開催	離乳食教室（実習型） 12回30人	教室開催回数(回)	半年目標	現状値と同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	順調①	・体験型の教室であり、保護者の不安解消の一助になっているということがアンケート結果から伺える。 ・計画目標達成率が92.3%であるので、順調①とした。			
							【現状値】	実績	12回									
							【目標】	達成率	92%									
								計画目標	92%									
1	2	14	親子ですすめる食育教室	幼児期からの正しい食事の仕方や望ましい食習慣の定着のために、幼稚園や保育所等において、就学前児童の保護者を対象に幼児期の食育について、栄養士の講話や調理実演などを行う。	①親子ですすめる食育教室の開催	9回 96名 食育資料配布 12か所 360部	教室開催回数(回)	半年目標	現状値と同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	遅れ	・新型コロナウイルス感染症予防の観点から、令和2年度実施予定の保育所(園)・幼稚園内での事業実施が困難になった。そのため、食育資料を送付した。 ・その他育児サークル等からの依頼については実施した。 ・計画目標達成率が26.5%であるので、遅れとした。	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、保育所(園)・幼稚園内での事業実施の目処が立たない。そのため、保育所(園)等を含めた団体に食育教材の貸出を開始し、食育の取組を推進していく。	親子ですすめる食育推進事業	子ども家庭局・子育て支援課
							【現状値】	実績	9回									
							【目標】	達成率	26%									
								計画目標	26%									
1	2	15	口腔保健支援センター事業	関係機関・団体と連携し、歯科口腔保健に関する知識の普及や啓発や情報提供、市民の歯科疾患の予防等に取り組み、本市の状況に応じた歯科口腔保健施策を推進する。また、子どもの保護者や子どもにかかわる関係職種、子どもたちを対象に、歯科健診や歯科保健指導等の場を通して、本市の重要な健康課題の1つであるむし歯予防に取り組む。	①1歳6か月児歯科健康診査 ②3歳児歯科健康診査	①4,987件 ②5,180件	3歳児でう蝕のない者の割合	半年目標	現状値比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	順調①	【課題】 3歳児のう蝕のない者の割合はR元年度から増加しており、目標値に達しているため「順調①」とした。 【改善】 3歳児のう蝕のない者の割合を増加させるため、歯科健康診査の受診勧奨、むし歯予防の啓発等、引き続き効果的な対策を検討する。		口腔保健支援センター事業	保健福祉局・健康推進課
							【現状値】	実績	83.4% (R元年度)	84.4%								
							【目標】	達成率	101.2%									
								計画目標	101.2%									

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（1）母子保健の充実

		【Plan】計画				【Do】実施					【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課			
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課	
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度
1	2	16	わいわい子育て相談 (すくすく子育て支援事業)	心身の発達が気になる乳幼児について、医師・臨床心理士・保育士等がチームで相談に応じ、発達障害等を早期に発見し、乳幼児の健全な発達を支援する。	①わいわい子育て相談の実施	①95回	相談実施回数(回)	半年度目標 現状値と同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	順調①	・新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、開催回数は維持できている。 ・わいわい子育て相談のフォローの場である「親子遊び教室」について、全区で継続的に開催した。		すくすく子育て支援事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課
【現状値】	101回 (R元年度)	95回															
【目標】	現状維持	達成率	94.1%														
							計画目標	94.1%									
1	3	17	育児支援家庭訪問事業 (のびのび赤ちゃん訪問事業)	個々の家庭の抱える養育上の問題の解決や負担の軽減を図るため、出産後間もない時期やさまざまな原因(ひとり親、親の心身の不調、望まない妊娠、経済的な問題、若年、多胎、多子、外国人等)で養育が困難になっている家庭に対して、保健師等が訪問し、子育てに関する情報提供や専門的な支援を行う。	①育児支援家庭訪問の実施	①2,080件	育児支援訪問の実施	半年度目標	-	-	-	-	-	順調①	・訪問件数は減少しているが、若年や多胎児、産後うつなど、養育が困難な妊産婦に対して、専門職が必要な継続支援を行っているため、順調と判断した。	のびのび赤ちゃん訪問事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課
【現状値】	実施(訪問数2,305件) (R元年度)	2,080件															
【目標】	訪問基準に基づき訪問するため、目標値は設定しない。	達成率	90.2%														
							計画目標	90.2%									
1	3	18	乳幼児健康診査未受診者フォローアップ事業 (すくすく子育て支援事業)	虐待につながりやすい状況を早期に把握し予防するため、乳幼児健康診査未受診者に対して、家庭訪問を実施し、受診勧奨するとともに、養育に関する相談に応じる。 また、妊婦や乳幼児の健康診査をデータ管理し、受診結果に応じて保健指導を行う。未受診者のフォローに関して、関係機関と連携し、養育支援を特に必要とする家庭の把握に努める。	①乳幼児健康診査未受診者家庭の訪問実施	①100%	フォローアップ率(%)	半年度目標 現状値と同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	順調①	・平成29年度に引き続き、4か月児と1歳6か月児だけでなく、3歳児健康診査未受診者についても、全数訪問等によるフォローを行った。		すくすく子育て支援事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課
【現状値】	100% (R元年度)	100%															
【目標】	現状維持	達成率	100%														
							計画目標	100%									

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（1）母子保健の充実

			【Plan】計画	【Do】実施						【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課					
施策 番号	柱	取 組 み No.	取 組 み 名	事業概要	R2年度の 取 組 み 計 画	R2年度の 主 な 実 績	活動指標					評価	評価の理由 (分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務 事業名	※太字が評価を 記載した課		
							区 分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度	
1	3	19	養育支援訪問事業	産前産後の心身の不調や家庭環境の問題など、特に養育支援を必要とする家庭に対して、訪問員を派遣し、育児や家事の支援を行うなど、早期に対応することで育児不安を軽減し、家庭の養育力を高め、児童虐待の未然防止を図る。	①養育支援ヘルパーの実施	①利用世帯：14世帯	養育支援ヘルパー実施	半年 目標	実施	実施	実施	実施	順調①	・養育支援訪問事業では、必要な家事・育児支援を実施した。利用世帯数は少ないが、区の保健師によるアセスメントの結果、支援が必要な対象者に対して事業を活用できており、順調とした。	・支援を必要とする家庭の育児不安軽減を図るため、養育支援訪問事業を継続して実施する。	妊娠・出産・養育にかかる相談・支援事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課	
							【現状値】 実施 (R元年度)	半年 実績	実施									
							【目標】 実施	達成 率	100%									
							達成 率	計画 目標	100%									
1	3	20	多胎児支援の充実 (妊娠・出産・養育にかかる相談・支援事業)	孤立しやすく、産前産後で育児等の負担が大きい多胎妊産婦・多胎家族への支援体制について、関係機関と連携し、多胎児支援の充実に努める。	①多胎妊産婦の交流会実施	①4回	開催回数(回)	半年 目標	現状値と同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	やや遅れ	新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となる区が多かったため、やや遅れと判断した。	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて感染対策を講じた上で、交流会を実施していく。	妊娠・出産・養育にかかる相談・支援事業の一部	子ども家庭局・子育て支援課
							【現状値】 10回 (R元年度)	半年 実績	4回									
							【目標】 現状維持	達成 率	40%									
							達成 率	計画 目標	40%									